

## 【皮下注】DALA-Bd療法について

この治療法は、多発性骨髄腫に対する治療法です。この治療法ではダラツムマブ、ボルテゾミブ、デキサメタゾンの3種類の治療薬が使用されています。

### 1. 投与方法・投与スケジュール

1～3サイクル目と4～8サイクル目、9サイクル目以降で投与日、休薬期間が異なります。

#### <1～3サイクル目> 21日サイクル

| 薬剤       | 効能または使用目的      | 投与時間  | 1日目 | 4日目 | 8日目 | 11日目 | 15日目 | 16日目～21日目<br>(休薬期間) |
|----------|----------------|-------|-----|-----|-----|------|------|---------------------|
| 生理食塩水    | ルート確保          | 60分※1 | ○   |     | ○   |      | ○    |                     |
| デキサメタゾン注 | 過敏症予防<br>抗腫瘍効果 | 15分※1 | ○   |     | ○   |      | ○    |                     |
| ダラツムマブ   | 抗がん剤           | 3～5分  | ○   |     | ○   |      | ○    |                     |
| ボルテゾミブ   | 抗がん剤           | —     | ○   | ○   | ○   | ○    |      |                     |

※1は同時に投与します。

※2 ダラツムマブ投与1時間前までにジフェンヒドラミン錠、アセトアミノフェン錠を内服します。

1サイクル、1日目のみモンテルカスト錠も合わせて内服します。

※3 デキサメタゾン錠(レナデックス錠)は2、4、5、9、11、12日目に内服します。

#### <4～8サイクル目> 21日サイクル

| 薬剤       | 効能または使用目的      | 投与時間  | 1日目 | 4日目 | 8日目 | 11日目 | 12日目～21日目<br>(休薬期間) |
|----------|----------------|-------|-----|-----|-----|------|---------------------|
| 生理食塩水    | ルート確保          | 60分※1 | ○   |     |     |      |                     |
| デキサメタゾン注 | 過敏症予防<br>抗腫瘍効果 | 15分※1 | ○   |     |     |      |                     |
| ダラツムマブ   | 抗がん剤           | 3～5分  | ○   |     |     |      |                     |
| ボルテゾミブ   | 抗がん剤           | —     | ○   | ○   | ○   | ○    |                     |

※1は同時に投与します。

※2 ダラツムマブ投与1時間前までにジフェンヒドラミン錠、アセトアミノフェン錠を内服します。

※3 デキサメタゾン錠(レナデックス錠)は2、4、5、9、11、12日目に内服します。

#### <9サイクル目以降> 28日サイクル

| 薬剤       | 効能または使用目的      | 投与時間  | 1日目 | 2日目～28日目<br>(休薬期間) |
|----------|----------------|-------|-----|--------------------|
| 生理食塩水    | ルート確保          | 60分※1 | ○   |                    |
| デキサメタゾン注 | 過敏症予防<br>抗腫瘍効果 | 15分※1 | ○   |                    |
| ダラツムマブ   | 抗がん剤           | 3～5分  | ○   |                    |

※1は同時に投与します。

※2 ダラツムマブ投与1時間前までにジフェンヒドラミン錠、アセトアミノフェン錠を内服します。

## 2. 特徴

### ●ダラツムマブ

作用:がん細胞表面の CD38を標的として結合し抗がん作用を示します。

「ダラツムマブ」と「ヒアルロン酸分解酵素」が含まれる皮下注射するお薬です。

注意事項:①投与後に発熱、悪寒、悪心、頭痛、疼痛、かゆみ、発疹、咳、虚脱感、呼吸困難などが現れたときはただちにお知らせください。

②副作用を軽くするために投与1～3時間前にデキサメタゾン注投与、ジフェンヒドラミン錠、アセトアミノフェン錠を内服します。

③B 型肝炎の既往がある方は注意が必要なのでご連絡ください。

### ●ボルテゾミブ

作用:プロテアソーム阻害剤という種類のお薬です。プロテアソームの働きを阻害することで、抗がん作用を示します

注意事項:点滴中に発熱、悪寒、悪心、頭痛、疼痛、かゆみ、発疹、咳、虚脱感、呼吸困難などが現れたときは早めにお知らせください。

### ●デキサメタゾン(レナデックス)

作用:生体内で作り出される副腎皮質ホルモン(ステロイド)を薬にしたものです。抗アレルギー作用、抗炎症作用、免疫抑制作用、抗腫瘍作用、悪心・嘔吐抑制作用などがあります。

注意事項:①医師の説明どおりに決められた量と期間を守って服用してください(自己判断での中止や減量等を行わないようにしてください)。

②食後になるべく多めの水で服用してください。

## 3. 副作用

抗がん剤治療によって起こりうる主な副作用の種類、予防法、そしてそれが出現したときのひとまずの対応方法を知ることが副作用対策の第一歩です。ここでは比較的高頻度に出現する副作用と頻度は少なくとも注意が必要な副作用(有害作用)について掲載しました。

(ただし、頻度や強さには個人差があることをご理解の上で、参考にさせていただきたいと思います。)

## 注射時反応(Infusion reaction)

**好発時期:**①発熱、悪寒、悪心、頭痛、疼痛、かゆみ、発疹、咳、虚脱感、呼吸困難などが現れたときはただちにお知らせください。

②初めてダラツムマブの注射を受けるときに現れる場合が多く、注射開始から約4時間後に一番現れやすいと報告されています。2回目以降も現れることがあります。

③遅発性(ダラツムマブの投与開始から24時間以降)に症状が現れることもあります。

**対策:**予め注射の1～3時間前にデキサメタゾン注投与、ジフェンヒドラミン錠、アセトアミノフェン錠を内服します。

帰宅後も起こる場合がありますので、異常を感じたらご連絡ください。

慢性閉塞性肺疾患(COPD)あるいは気管支喘息にかかったことがある方は、特に注意が必要ですので、必ず医師へお知らせください。

## 骨髄抑制

血液中の赤血球や血小板、白血球、好中球、リンパ球などが減少した状態のことを骨髄抑制といいます。赤血球が減ると貧血になり、血小板が減ると出血しやすくなります。また、白血球、好中球、リンパ球が減ると風邪や肺炎などの感染症にかかりやすくなります。

**対策：貧血：**自覚症状は息切れ、動悸、手足の冷え、倦怠感、立ちくらみなどが現れます。

激しい運動は控え、無理のない範囲でゆっくり動くようにしてください。

鉄分が少なくなっているケースでは食事から摂取できるよう心がけてください。

**白血球減少：**感染しやすい状態のため、**手洗い、うがい**、外出時の**マスク**着用を心がけましょう。

**血小板減少：**自覚症状は鼻血や歯茎の出血、青あざがしやすいなどです。

**ケガや転倒の危険性がある作業は避けましょう。**

歯ブラシは毛の柔らかいタイプを使うと良いでしょう。

## しびれ(末梢神経障害)

末梢神経障害は抗がん剤が知覚神経や運動神経を傷害することで発症します。症状は手、足先から出てくることが多く、しびれ、感覚麻痺などが初期症状として出てきます。症状が進行すると筋肉に力が入りにくくなり、つまずきや転倒の原因にもなります。ほとんどの場合治療が終了すれば回復してきますが、時間がかかる(数ヶ月～1年)場合もあり、症状の強さに応じてお薬を処方することもあります。

**好発時期：**ボルテゾミブの治療が長くなってくると症状が出てくることがあります。

症状が進行するとボタンがかけにくい、物を落とす、1枚膜を張ったよう、つまずきやすいなど日常生活に影響がでてくる場合があります。

**対策：**早い時期に発見した方が回復も早いので、日ごろから注意してください。

症状があるときには刺激を与えないよう心がけてください。水を使うときには手袋を使用するなどです。

**しびれの症状は我慢せず、しびれの強さや範囲、日常生活で困ることをお知らせください。**

## 吐き気・嘔吐

**好発時期：**治療当日から数日間

症状の出方は個人差があり、数日後から出てくる方や、症状が7日間程度続く方もいらっしゃいます。

**対策：**抗がん剤による吐き気の強さに応じて事前に吐き気止めの点滴を行います。

症状にあわせて吐き気止めを処方させていただきます。上手くコントロールできない場合はお伝えください。考えすぎるとそれだけで症状が出てくることがあります。リラックスしてあまり考えすぎないようにしてください。

**食事は無理せず、食べられるものを少量取っていただいても結構です。**

水分(水、スポーツドリンクなど)はなるべく取っていただいた方が良いでしょう。便秘の予防にもなります。

便秘は吐き気の原因にもなります。必要に応じて下剤を服用することをお勧めします。

部屋の空気を入れ替えたり、趣味を楽しんだりすることで吐き気が楽になることもあります。



## 便秘

**好発時期:** 当日～数週間の間に起こることがあります。

便秘が続くとそれが原因で吐き気や食欲不振を起こすこともあります。

**対策:** 水分は多めに摂取したり、食物繊維を取るようになしてください。

症状が苦しいと感じたら下剤をお出しすることも可能なのでご相談ください。

## 間質性肺炎

間質性肺炎は、肺が炎症を起こし機能が低下する病気です。確率は低いですが、放置すると重篤化する危険性があります。症状としては**息切れ、呼吸困難、空咳、発熱**などが起こります。また、この症状は肺に病気を持っている患者さんほど起きやすいことが分かっています。上記の症状が出た場合は自己判断せずに早めにご相談ください。

**対策:** 初期症状は風邪によく似ているため自己判断せずに早めにご相談ください。



## デキサメタゾンによる副作用

下記の症状が現れた場合はご相談ください。

1. のどの渇き、多尿(**高血糖に伴う症状**)
2. **心臓がドキドキする**
3. 肩こり、頭重感(**高血圧に伴う症状**)
4. 気分が高まったり沈んだりする、いらいらする、寝つきが悪い
5. 顔のほてり、ムーンフェイス(満月様顔貌)、むくみ
6. 感染症(免疫抑制作用によるもの)
7. 骨がもろくなる
8. 胃やみぞおちのもたれ・痛み
9. 内服後のだるさ
10. 食欲亢進(強い空腹感)

**対策:** 症状が現れた場合はご相談ください。

安全に使用していただくためにも、高血圧、糖尿病、緑内障、白内障、骨粗しょう症、B型・C型肝炎、関節リウマチなどの既往のある方は必ず医師にお伝えください。

**※この他にも日常と違った症状がでた場合は病院までご連絡ください。**

済生会宇都宮病院  
代表: TEL 028-626-5500